

高信頼性ICタグ

本当を大事にしていきたい

新しい技術をビジネスにしたい。これは大きなロマンと言えます。このためには、実は現場という大きな壁を乗り越えて行く必要があります。新しい技術といった場合、まず本当に現場にとって代替え技術はないものなのかよく把握しなければなりません。

次に本当に現場の人が困っているかどうかよく理解する必要があります。ニーズは作るものだと言われますが、困ってもいない人に一方的売り込むのはとても勝算があるとは思われませんし、相手が困るだけです。

そして、新しい技術は本当にシステムとして機能するかどうかよく確認しなければいけません。よいところだけとっても欠点が内在したり、致命傷になるようなことを隠したりしたらとてもではないけど現場に使えません。

最後に最も大事なことは、本当にコスト、信頼性が妥当なレベルに入っているかです。機能、性能は素晴らしいけどコストが大変高いのではとてもすぐ実用化というわけにはいきません。